

地球温暖化対策のなかで一番大きな課題は二酸化炭素CO₂の排出削減。このCO₂を減らすには化石燃料の消費を減らす必要があります。CO₂排出の21%を占める運輸部門、その約半分がわたしたちが日々使っている自家用車です。

排出削減のためには、ハイブリット車などの低公害車への切り替えは有効といえますが、今お持ちの車でもすぐに取り組める方法があります。「エコドライブ」と呼ばれている環境にやさしい運転で、事故防止の効果も期待できます。

≫ 1. ふんわりアクセル「eスタート」

普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持ち、ゆったりとした気持ちで運転しましょう。



≫ 3. 早めのアクセルオフ

エンジンプレーキを使うと燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら早めにアクセルから足を離し、エンジンプレーキで減速しましょう。

また、坂道を下る時にもエンジンプレーキを活用しましょう。



≫ 5. アイドリングストップ

10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐停車のときにはエンジンを止めましょう。



≫ 7. 道路交通情報の活用

1時間のドライブで道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に。地図やカーナビなどを利用してあらかじめ計画・準備をしましょう。

また、道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。



≫ 9. 不要な荷物は積まずに走行

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。



≫ 2. 加減速の少ない運転

車間距離に余裕をもつことが大切。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をするとその分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。



≫ 4. エアコンの使用を控えめに

気象条件に応じてこまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時にエアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。



≫ 6. 暖機運転は適切に

現在販売されているガソリン乗用車は、暖機不要です。冬季など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費します。



≫ 8. タイヤの空気圧をこまめにチェック

タイヤの空気圧が適正値より50kPa (0.5kg/cm²) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、燃費が悪化します。

また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。



≫ 10. 駐車場所に注意

交通の妨げになる場所での駐車は、交通渋滞をもたららし、余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから20kmに下がると、31%程度の燃費悪化に相当するといわれています。



エコドライブ
10の
ススメ